

- ① 配本希望部数をご記入のうえFAXにてご連絡をお願いいたします。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

注文扱い

部数

○委託配本はありません。注文返条付きの出荷とさせていただきます。【別刷注文書あり】

法政大学出版局 2024年11月14日出来 定価14300円(本体13000円+税) A5判・上製・貼箱装・640頁

ヴィルヘルム・ディルタイ 著／牧野英二、伊藤直樹、大石 学、瀬戸口昌也 編集/校閲

《ディルタイ全集》

別巻 ディルタイ研究・資料

ISBN978-4-588-12112-8 C3310

ディルタイが哲学や人文科学の歴史にもたらした革新とはいかなるものだったか。現代の読者はそこから何を生み出すことができるのか。今日にいたる国内外の研究史や翻訳史を総点検し、今後の研究・読解の基礎となる年譜や文献情報を収録するとともに、最新視点から主要な論点を扱う論考群を掲載。構想段階から四半世紀、発刊開始から20年以上の時を経て、『ディルタイ全集』ついに待望の完結!

【哲学・思想】

☆関連書: 牧野英二『京都学派とディルタイ哲学』(小局刊)。●全11巻+別巻1のセット販売が可能です。

新刊委託

部数

法政大学出版局 2024年11月25日配本 定価3520円(本体3200円+税)

四六判上製・300頁

根崎光男 著

《ものと人間の文化史 191》

鷹

ISBN978-4-588-21911-5 C0320

★★ 前近代社会では、鷹は権力の象徴であった。本書は、古代から現代にいたる鷹狩の歴史、とりわけその制度や技術がもつとも進んだ日本近世において、全国規模で展開された鷹の贈答儀礼、鷹狩によって捕らえた獲物(御鷹之鳥)の贈答や饗応の社会的な広がり、鷹の飼養や訓練の方法、鷹場の維持管理のシステム、加えて鷹と鷹狩にかかわる文化としての絵画・文学の展開までを、権力者と民衆双方の視点から描く。

【日本史/制度・社会・文化】

☆関連書: 根崎光男『將軍の鷹狩り』(同成社)、『江戸幕府放鷹制度の研究』(吉川弘文館)、他。

新装再委託

部数

法政大学出版局 2024年11月15日配本 定価7150円(本体6500円+税)

A5判上製・550頁

星名定雄 著

情報と通信の文化史〈新装版〉

ISBN978-4-588-37129-5 C0020

狼煙にはじまり、古代ペルシアの駅制、江戸時代の飛脚、イギリスの郵便馬車、フランスの電信・電話、そして現代のインターネット社会にいたるまで、情報と通信にまつわる技術・制度の変遷と社会生活の変化を描いた、通信技術の歴史。

【西洋文化史】

☆関連書: 星名定雄『陸・海・空、手紙をはこぶ』、『郵便と切手の社会史』(小局刊)。

重版

部数

法政大学出版局 2024年11月上旬重版出来 定価3960円(本体3600円+税)

四六判上製・406頁

ラシード・ハーリディー 著／鈴木啓之、山本健介、金城美幸 訳

《サビエンティア 71》

パレスチナ戦争 入植者植民地主義と抵抗の百年史

ISBN978-4-588-60371-6 C1322

アラファートらPLO幹部やサイドなど知識人たちと親交のあったパレスチナ研究大家の初邦訳。膨大なインタビューと、確かな知識に裏打ちされた歴史叙述をベースに、イギリス委任統治政府に追放された伯父や国連に勤務していた父親の話、イスラエルのレバノン侵攻で娘を抱えて逃げた自身の経験など家族史を織り交ぜ、強大な権力に翻弄されてきた民族の一世紀を描き出す。彼らの自決権が否定されてきた先に現在の混迷がある。重版3刷!!

【パレスチナ現代史】

☆関連書: パベ『パレスチナの民族浄化』、ホホワイト『イスラエル内パレスチナ人』(小局刊)。

重版

部数

法政大学出版局 2024年11月重版出来 定価3740円(本体3400円+税)

四六判上製・308頁

イラン・パペ 著／脇浜義明 訳

《サビエンティア 55》

イスラエルに関する十の神話

ISBN978-4-588-60355-6 C1322

パレスチナは民なき土地ではなかったし、ユダヤ人は土地なき民ではなかった。パレスチナは植民地化されたのであって、ユダヤ人がイスラエルを回復したのではない。歴史の歪曲と情報操作によって生み出されてきたイスラエルに関する「神話」、すなわち虚偽にまみれた政治的プロパガンダの背景を読み解き、反証をあげて論駁する。イスラエル人の歴史家である著者のエッセンスを集約する入門書。重版2刷!!

【パレスチナ問題】

☆関連書: パベ『パレスチナの民族浄化』、ヘルツル『ユダヤ人国家』(小局刊)ほか。

重版

部数

法政大学出版局 2024年11月重版出来 定価3960円(本体3600円+税)

四六判上製・354頁

アクセル・ホネット 著／山本 啓、直江清隆 訳

《叢書・ユニベルシタス 1010》

承認をめぐる闘争 [増補版] 社会的コンフリクトの道徳的文法

ISBN978-4-588-01010-1 C1310

現在の批判理論における最重要の課題である「承認」論の重要性を、決定的に位置づけた必読書。第一版の刊行後に寄せられた反響に原著者が応えた、増補「承認の根拠——批判的な反問にたいする応答」を新たに収録する。愛、法(権利)、尊重という三つの承認形式に基づく初期ヘーゲルの思考を援用し、ハーバマスのコミュニケーション論を批判的に展開させ、新たな批判理論の地平を目指す。重版3刷!!

【哲学・思想】

☆関連書: ホネット『理性的病理』、ホネット+フレイザー『再配分か承認か?』(小局刊)。

ご担当者様 氏名: [] 担当ジャンル: [] TEL: []

【お願い】

配本の際、ご担当者様の記名が必要となりました。
ご面倒とは存じますが、ご担当者様欄のご記入をお願い申し上げます。

Fax. 03-5214-5542

法政大学出版局

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3

Tel. 03-5214-5540 E-mail: sales@h-up.com URL: https://www.h-up.com/